

J Aあがつまミニディスクロージャー誌

(平成31年3月～令和2年2月)

令和2年2月末現在

あがつま農業協同組合

〒377-0893

群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町607番地

TEL 0279-68-2911

FAX 0279-68-2008

目 次

I	地域貢献情報	1
1.	地域貢献の全般に関する事項	1
2.	地域からの資金調達の状況	1
3.	地域への資金供給の状況	1
4.	文化的・社会的貢献に関する事項	2
II	財務状況等	3
1.	令和2年2月末（決算）の状況	3
2.	貸借対照表	3
3.	損益計算書	4
4.	主要勘定の状況	4
5.	金融再生法開示債権（単体）	5
6.	単体自己資本比率（国内基準適用）	5
7.	有価証券の時価	5

I 地域貢献情報

1 地域貢献の全般に関する事項

J Aあがつまは、各種金融機能やサービス等の提供を行うとともに、総合事業を通じ地域の協同組合として、相互扶助の理念のもと地域条件を活かした農業の発展と健康で心豊かな地域社会の実現に向け、地域の組合員・利用者皆様をはじめ地域社会の皆様と共に歩んでいきたいと考えています。

J Aあがつまは、その資金の大半が地域の組合員の皆様からお預かりした「貯金」で構成されており、一方でその資金は組合員の皆様や農業に関連する団体、地方公共団体などにもご利用いただいております。

2 地域からの資金調達の状況

貯金・定期積金残高 63,715,193千円

3 地域への資金供給の状況

- (1) 貸出金残高 8,189,518千円
- ・組合員等 5,008,518千円
 - ・地方公共団体 2,149,883千円
 - ・その他 1,031,117千円
- (2) 制度融資取扱状況等 414,361千円
- ・近代化資金
農業の「担い手」の経営改善のための長期で低利な制度資金です。
施設の取得・拡張・整備・機械導入・長期運転資金など幅広い資金調達をサポートしています。
 - ・総合農政推進資金
既存の制度資金の融通を円滑にし、農業の振興を図ることを目的とした、上乗せの利子補給（助成）を行う制度資金です。
 - ・畜産関連資金 22,616千円
制度資金以外の負債の整理を行うことにより、今後の農業経営に展望が開ける農業者の要望に応える制度資金です。
 - ・(株)日本政策金融公庫資金 9,919千円
「認定農業者」と「担い手」の経営改善のために返済期間が15年を超える、資金規模が大きい、農地取得を含む等の場合に利用できる長期資金です。
 - ・就農支援資金
農家子弟、農業以外からの新規参入など農業内外を問わず新たに就農を希望する青年・中高年齢者（認定農業者）や農業の経験がない人を新たに雇用しようとする農業法人等（認定農業者）を応援する資金です。
- (3) 融資商品 地域の皆様への資金・・・上記各制度資金等の取扱の他
- ・営農資金
 - ・農業経営再建整備資金
 - ・営農ローン
 - ・J A農機ハウスローン
 - ・アグリマイティ資金
 - ・J A住宅ローン
 - ・J Aマイカーローン
 - ・J A教育ローン
 - ・J Aカードローン
 - ・その他各種資金

4 文化的・社会的貢献に関する事項

- (1) J Aと地域とのかかわり
 - 学校給食への地元産農産物提供に係る取組み
 - 管内小学校への「食農・環境保全・金融経済」をテーマとした教材図書の贈呈
 - 管内小学校への「ちゃぐりん」を配布
 - 管内小学校の新入学児童へ「ランドセルカバー」を配布
 - 年金相談会、休日ローン相談会の開催
 - 各種地域行事の参加・協賛
- (2) 利用者ネットワーク化への取組み
 - 年金友の会によるゴルフ大会・グラウンドゴルフ大会・ゲートボール大会
 - 短歌俳句大会の開催
 - ほほえみの会によるミニデイサービス、クリーン大作戦の実施
- (3) 情報提供活動
 - 組合員だより「ふれあい」の発行
 - J Aあがつまホームページの開設 <http://www.aganet.or.jp/>
 - 各種行事の新聞掲載（上毛新聞、農業新聞に掲載）

II 財務状況等

1. 令和2年2月末（決算）の状況

令和元年度は、第7次中期経営計画の初年度として、『農業者の所得増大・農業生産高の拡大』の実現、『組合員・地域住民のくらしを守る地域の活性化』の実現をキャッチフレーズに「農業」「くらし」「JA」の基本方針を実現するために自己改革に取り組んでまいりました。しかし、JAを取り巻く環境は、農業者の高齢化、農業後継者・担い手の減少、地域人口の減少等、依然として厳しい状況です。

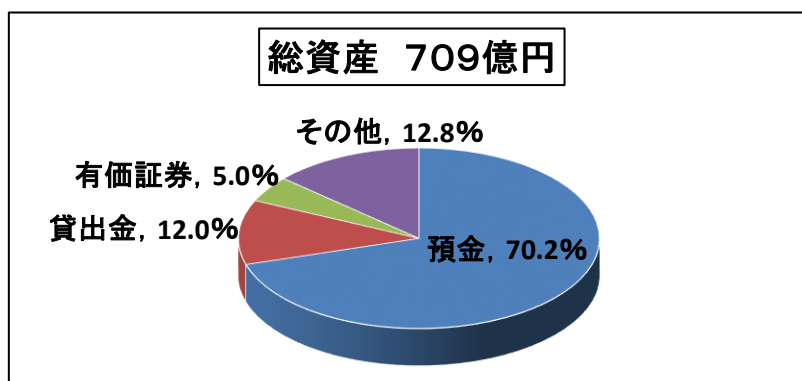
こうした中、役職員が一体となり各種推進事業目標必達に努め、経費削減努力を怠らずに自己資本の増強と不良債権処理に取り組んだ結果、当組合の財務状況については自己資本比率は16.42%（前年度対比0.81ポイント減少）となり、不良債権比率は1.51%（前年度対比0.18ポイント減少）となりました。

収益面では、事業利益が前年度より86,071千円、経常利益が36,584千円とそれぞれ減少となり、さらに減損損失を計上したため、当期損失金63,330千円となりました。

2. 貸借対照表

(単位：千円)

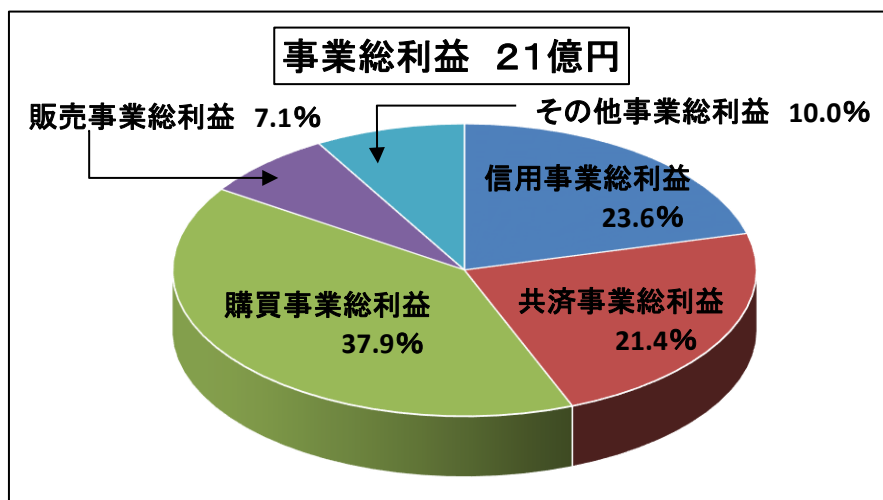
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	62,073,117	1. 信用事業負債	63,851,468
(1) 現 金	422,113	(1) 貯 金	63,715,193
(2) 預 金	49,898,455	(2) 借 入 金	12,571
(3) 有価証券	3,289,590	(3) その他の信用事業負債	123,703
(4) 貸 出 金	8,189,518	2. 共済事業負債	314,511
(5) その他の信用事業資産	306,625	3. 経済事業負債	584,040
(6) 貸倒引当金	△ 33,185	4. 雑 負 債	277,634
2. 共済事業資産	6,757	5. 諸引当金	309,531
3. 経済事業資産	1,267,046	負債の部合計	65,337,185
4. 雑 資 産	451,596	(純資産の部)	
5. 固定資産	1,738,492	1. 組合員資本	5,553,506
6. 外部出資	5,363,139	(1) 出資金	1,251,811
7. 繰延税金資産	54,955	(2) 資本準備金	405
		(3) 利益剰余金	4,308,112
		(4) 処分未済持分	△ 6,822
		2. 評価・換算差額等	64,413
		純資産の部合計	5,617,919
資産の部合計	70,955,105	負債及び純資産の部合計	70,955,105



3. 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	2,129,417	(9) その他事業収益	588,282
(1) 信用事業収益	478,643	(10) その他事業費用	410,900
資金運用収益	433,668	その他事業総利益	177,382
役務取引等収益	22,404	2. 事業管理費	2,164,894
その他経常収益	22,570	(1) 人件費	1,559,848
(2) 信用事業費用	31,987	(2) 業務費	174,685
資金調達費用	11,106	(3) 諸税負担金	58,897
役務取引等費用	9,340	(4) 施設費	358,929
その他経常費用	11,540	(5) その他事業管理費	12,533
信用事業総利益	446,656	事業利益	35,477
(3) 共済事業収益	526,425	3. 事業外収益	178,583
(4) 共済事業費用	36,483	4. 事業外費用	42,415
共済事業総利益	489,942	経常利益	100,690
(5) 購買事業収益	7,167,034	5. 特別利益	15,339
(6) 購買事業費用	6,308,428	6. 特別損失	139,222
購買事業総利益	858,605	税引前当期利益	△ 23,192
(7) 販売事業収益	216,540	7. 法人税、住民税及び事業税	3,557
(8) 販売事業費用	59,709	8. 過年度法人税等追徴税額	7,430
販売事業総利益	156,831	9. 法人税等調整額	29,150
		当期剰余金	△ 63,330



4. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	平成31年2月末	令和2年2月末	増 減
貯 金	64,242,642	63,715,193	△ 527,449
貸 出 金	8,594,150	8,189,518	△ 404,632
預 金	50,378,665	49,898,455	△ 480,210
有 価 証 券	3,614,200	3,289,590	△ 324,610

5. 金融再生法開示債権(単体)

(単位：千円)

債権区分	平成31年2月末	令和2年2月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	134,925	89,097	△ 45,828
危険債権	11,079	34,545	23,466
要管理債権	0	0	0
正常債権	8,490,985	8,089,146	△ 401,839
合計	8,636,990	8,212,790	△ 424,200

6. 単体自己資本比率(国内基準適用)

平成31年2月末	令和2年2月末
17.23%	16.42%

7. 有価証券の時価

(単位：千円)

保有区分	平成31年2月末			令和2年2月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
その他保有目的	3,500,796	3,614,200	113,403	3,200,547	3,289,590	89,042
合計	3,500,796	3,614,200	113,403	3,200,547	3,289,590	89,042

- (注) 1. 時価は期末日における市場価格等によっております。
 2. 取得価額は、取得原価又は償却原価によっております。
 3. その他有価証券については、時価を貸借対照表価額としております。